'09 のべおか
第九

のべおか第九だより（第434号）
2009年10月4日 (日)

○発行　のべおか「第九」を歌う会
○事務局（延岡総合文化センター内）
〒882-0852 延岡市東浜砂町611-2
電話 (0982)22-1855
http://www.horita.jp/dai-9.html

---- 出席カードには**会員番号**を。練習中のケイタイ**着信音はオフ**に。----

本日の内容
山田先生の指導の復習とC

○ A (237～330小節) p.9～18
○ B (411～654小節) p.21～35
◎ C (655～762小節) p.35～47
○ D (795～920小節) p.50～63
12月12日まであと**69**日

前回の状況	会員数	出席数	出席率	自己採点
♦ ソプラノ	23 人	19 人	69.6%	82.6 点
♥ アルト	56 人	45 人	74.5%	80.3 点
♣ テノール	25 人	19 人	86.9%	76.0 点
♠ バス	34 人	20 人	42.4%	58.8 点
● 合計	138 人	103 人	67.9%	76.6 点

♫ 山田先生の指導

@「合唱幻想曲」編

その付近の注意…●総合・♦ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス
その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♧テノール・♤バス
★…お話
（ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!）

● 444 【Gro - ßes,〜】 これもさっき第九で言った事を応用してほしいんだけど、包丁でトントン切るような歌い方ではなく、流れ、フレーズというのかな。

● 453 【hin, ihr schö - nen〜】 途中に出てくる“hin(453)”、“See-len,(454)”にはsfを加えてほしいんです。オーケストラには付いているんだけど、合唱のパートには付いていないですから。

○ 466 【See - len,】 これね、パッとpに変えてほしいんですよ。パッと別世界に入ってほしいんです。

● 468 【hin,〜】 さきほど“hin,(453)”にsfを付けたんですけど、ちょっとだけスピードがあったほうがいいんだよね。特に8分音符になるとき。1回目(ここ)は4分音符、2回目(470)は8分音符。ちょっとシェイプアップ。

○ 474 【Kunst.】 ドイツ語は必ず語尾をはっきり。“Kunst.”の“…st.”。切るときに“クーーゥンスト(ポン)”。

◇ 484 【Ga - - ben】 これ、“- - ben”とソプラノが突然上がる。捉え方として、低い所から高い音を狙うのではなくて、自分が高い所にいて、自分の所に音を持ってくるような感じで。自分が行くのではなく、音を引き上げるような感じで。

● 506 【Kraft,〜】 “Kraft,”(ココと508)は素早く言ってほしいんだよね。テンポが490小節から倍になっていますから、さっき(“hin”)の8分音符みたいに、一瞬で言うぐらい。

● 511 【-〜】 この“Kra----ft”と伸ばしているときに、ちょっと楽していてほしいんです。さっきのオルガンみたいに。そしてffになるとき(514)にもう1回、“…アー…”とフルパワー! どうしてもpiu fって書いてあるところ(509)でりきんじゃうんですけど、それは無しね。

● 519 【lohnt dem〜】 ここはどうしても“lohnt … Men- … Göt- … Gun …”と聞こえてしまう。細かい音符をもっとはっきり。“lohnt dem Men-schen Göt-ter Gunst,”。細かい音もしっかり歌って!

● 547 【Nehmt die〜】 ここからのcresc.を忘れないようにね。最後の“Kunst.(554)”に向かって、もうちょっともうちょっと。それで皆さんは2分音符なんだけど、オーケストラは細かく刻んでいます。オーケストラに乗り遅れないように。

この曲、なんとなく本番ではそうなると思うんだけど、最初に歌い出して490小節でPrestoになるでしょ。そして、なんとなくだんだん速くなっていく感じになると思いますから、テンションをだんだん上げていく感じ。そして、第九のことを応用して、ちょっと喋るのを多めになさってください。

♪ ♬ ♪ ♬ ♪ ♬ ♪ ♬ ♪ ♬ ♪ ♬ ♪ ♬ ♪ ♬ ♪

@「第九」編

その付近の注意…●総合・♦ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス
その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♧テノール・♤バス
★…お話
（ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!）

合唱団が立つところ、僕は人と違うんですよね。まず4楽章が始まりました。…ひとしきり終わりました。チェロベース、次にビオラ、2ndバイオリン、1stバイオリンが入って…テーマ(に入って合図!)。ここで立ちます。ちょっとそれも頭に入れておいていただくといい。立つのも音楽的に。これも練習をしておいてください。

★ 【お話し】(最初に今村先生指揮で暫く歌って)…とても良い感じなのですが、今歌ったのでだいぶ疲れていないですか? ここは凄くいいホールなんですけど、いつもここで練習ですか? …いつもは狭い所で? ここは響きがあるところで、第九というのはあまりまともに歌ったら5分で声が出なくなっちゃいますから、リハーサルはもちろん、本番にオーケストラが入ってくるとさらに力が入ってしまっちゃいます。…ソプラノがすこし少ないですね。今日はほとんど出席ですか? 5年前までソプラノだったけど、アルトに移られた方、いらっしゃるでしょ? そういう方がもし再チャレンジできたら、ソプラノに移っていただくとか…。ほかバスが多くて、テノールが少ない。アルトが多いのは全国共通ですから。

● 257 【Dei-ne Zau-ber〜】 ちょっと動きがほしいんですよね。皆さん僕の動きをマネしながら歌えますか? そうすると僕のテンポ感とかおわかりになってもらえたと思います。

★ 257 【お話し】“al---le Men-schen wer-den Brü-der, wo dein sanf-ter Flü-gel weilt.”、“すべての人々は…兄弟になる”と皆さんは普通に使ってしまうのですが、それじゃベートーベンに友達がいたのか? というと、あぁいうイメージの人ですから、わかりませんよね。ですから“Und- wer's nie ge-konnt, der steh-le wei-nend sich aus die-sem Bund.”(288〜292)に“…この場にいてはいけない、泣きながら去っていきなさい…”という唯一ネガティブなところがありますけれども、それはベートーベン自身だったわけです。ベートーベンは耳が聞こえなかったから「自分は神を呪った」とまで言った人です。神を呪った人が「…あなたの力で世界をひとつに…」と。しかし、全世界の人が一つってことは凄く難しくて、今も戦争などありますが、銃を向けている者、向けられている者、闘う者、闘わさせられている者という、敵同士が兄弟になれるかということですよね。そういうことを考えると、“al---le Men-schen wer-den Brü-der,…”ということはもの凄いことなんですよ。だから“Dei-ne Zau-ber bin-den wie-der, …”、バラバラになったもの、切り離されたものをあなたの魔力で、“…wo dein sanf-ter Flü-gel weilt.”と。
……実は最近、悲しい出来事があって、熊本の「第九」を2年間続けて指揮させていただいてたのですが、その実行委員長の方がお亡くなりになって、その訃報を海外で知りましたので「どうか天国の柔らかい翼の下から見守ってください」といった弔文をおくりました。なにか皆さんもい

ろんな思いがあることでしょうから、そういうことを含めて…生きている者同士、敵同士でも兄弟。ひいてはあっちの世の人とこっちの世の人、すべて兄弟。そこまで表現なさってほしい。

○ 261 【--le Men-schen】 “al--le Men-schen”の“al--le”が“アーレ”って“l”がひとつだと“うなぎ”なんだな!? “うなーぎ人間 うな〜ぎ人間”って(笑)。“すべての人々”だから、ちっちゃい“ッ”をひとつ入れて“アッレ”。ちょっとだけバウンドする感じ。

● 262 【wer-den Brü-der,〜】 “wer-den Brü-der,”の“Brü-der,”。これはヒットして。最初、手の動きをつけて…そう、それくらい。そして動きをつけないで同じように歌って。

……足りない、特に男性が足りない。アルトは上手いんじゃないかな…そう、指導の先生の巻き舌がしっかり聞こえました(笑)。巻き舌がみなさん、あと3か月でできたらいいな。

★ 262 【お話し】僕は高校2年まで巻き舌ができなくて、大学受験のときに読んだある本に「必ず誰にでもできる」と書いてありました。巻き舌ができない人はいません。練習法も書いてあったんですが、舌が柔らかいイメージを持って、なにかのひょうしに1回だけ巻くことがあります。そのイメージを大切にしてください…とあったのね。その1回が2回になり、3回になり連続してできるようになるんですけど、そのきっかけに「必ず誰にでもできる」と書いてあった本のことが嬉しくて、1か月ぐらいでできるようになりました。出来たら ドイツ語に近づけますから、嬉しいです。この際、“ü”なんてあんまり気にする必要ないから。それを気にするより最後の“r”のほうが大事。

……(歌ってみて)あれ!? 皆さん出来るんだ。それなら最初っからやってください。練習なんてのは、言われてやるのは苦しいんでしょうけど、言われなくてやるのが楽しいんですから。

● 263 【wo dein sanf-ter〜】 …(通して歌って)今、いいことがたくさんありましたけど、大きく悲しいことがひとつ。僕が終わり2小節(263〜264)、こう(左手を下に)やったんですね。小さくしてほしい…楽譜はそのままなんですけど、ここはpで歌っていただけますか。この指揮で反応がパッと出てこないと、自由に歌わせてあげないよ。

……素晴らしいじゃないですか! 凄い!! 楽しくなってきました。ありがとうございます。変わると嬉しいです。

……“sanf-ter”ってどういう意味ですか? “優しい”とか“柔らかい”という意味があるんだけど、その“柔らかい”といったニュアンスで言って。たとえばため息、そういう表情がほしいんですよね。ドイツ語は難しいから、まる憶えの部分があってもいいんだけど、なんかキーワード、キーワードそうなると嬉しいですよね。

○ 284 【Ja,】 “Ja,”というのは“そうだ”ですから、肯定的精神ですよ。日本人は姿勢が悪いから、“はぁ〜い”とか言うんですけど、ドイツ人は“Ja,”。これには“,”がありますから、特別にしていただくと…。僕が指揮台をドンと踏むような勢い。

♡ 285 【Ja, wer auch nur】 “Ja,”、なんか“いゃ”って聞こえる(笑)。
♧ 285 【Ja, wer auch nur】 “Ja,”、“いゃ〜ぁ”じゃなく“ヤー”。

● 285 【wer auch nur〜】 “Ja,”のあとに包丁トントンで歌うと、喉をからしちゃうんです。“Ja,”だけ特別、それからちょっとレガートというか、横線にして。できると思うんです。できない人は少し体を横に…。

○ 285 【wer auch nur】 みな“いゃ…”ってなってしまうね。でもあんまりびっくりすると、“イッ…”と言っちゃうからね。…準備が足りないのかもね。歌うのわかってて“ヤー”って掴むの。ここは“Ja,”って言いたくて言いたくてしょうがないの。だから僕の合図を待たなくていい。
……それぐらい、それぐらい!

○ 288 【Er-den rund! Und】 “Er-den rund!”、“!”があります。一旦ここで切らないと。そして“そのことができない人は、泣きながら去りなさい。
……“…rund!”が少し遅い。ゆっくり歌ったら“!”が出せない。“!”を歌って一旦切って“Und…”。喋りも是非ドラマチックにいかないと。もっと喋らないと第九の…。

● 289 【_ wer's nie ge-〜】 “nie”、全否定。凄い強い否定です。
……“nie”、ぼくの勝手なイメージはようかん(横に長いイメージ)なんだなぁ。特別なsf。
……今度は良かった。だけどこのあと“ge-konnt,”でスグ弱くしない。“ge-konnt,”まで強くしないと。そのあと“der steh-le…”にdim.が書いてある。ベートーベンで譜面通りやればやるほど…
……あれ? 携帯??…

★ 289 【お話し】《練習中に客席で携帯が鳴る!!》今度から練習中に携帯鳴らした人は“泣きながら去ってほしい”(笑)。

● 291 【wei-nend sich aus〜】 “wei-nend sich aus die-sem Bund.”、ここもさきほど“Dei-ne Zauber,(795〜)”でやったように、言葉だけでやってもらえますか。言葉をもうちょっと喋ったほうがいい。“泣きながら去りなさい”、“wei-nend = 泣きながら”。泣きながら喋れるといいんだけど。声にならない声、音にならない音。
……もっと泣いて! ここは男性がもう少し泣きを入れるような歌い方をされると…男性がリードしてください。これ次の宿題にします。12月の本番前に伺いますけど、独自の表現。

● 292 【die-sem Bund.〜】 …素晴らしかった! でもまだ鳥肌は立ってない(笑)。合唱が出てきて15分間、ずっとお客さんの鳥肌を立てるような感覚がないと…。

● 313 【Küs-se gab sie〜】 ここアルトとベースで歌ってみましょうか、これお経になりやすいからね。ポクポクポク…(笑)。だから何か乗せて(繋げて切れないように)うたっていただくといい。ダウンじゃなくてアップ。
……テノールとソプラノ歌おう。これって歌いにくいように書いてあるんだけど、音符が五線を彷徨ってるというか、ベートーベンがなにかの心理を探してる!? 人生とは何かとかいう結論を探してる?? 小刻みに上り下がりしながら、“…虫けら…”とか言ってるんだけど、書きながら探しているんです。だから、刻んで歌うのではなく、かき分けていくような歌い方ができますか。

○ 313 【Küs-se gab sie】 “Küs-se”というのは“キス”でしょ。みなさんの“キス”ってのは「全世界にっ…」てのじゃない!?…。「全世界に口づけを!」ですよ。自分から“Küs-se”って行かないと。“キス”をされるのを待つんじゃなくて、自分から行くの!
……まだ待ってる!? すごく皆さん律儀、律儀、律儀! それも素晴らしいこと、いいんだけど、何が言いたいのかというと、同時にやるとオーケストラに聞こえがいいんだな…。たとえばオーケストラと同時に入ったときに、“Küs-se”の“Kü-…”という摩擦音が消され、“Küs-se gab sie”が“…ぅ…ぇ…ぁ…ぃ”って聞こえちゃうんです。“Kü-…”という摩擦音がもっと強烈に来ないと、客席に伝わらないんです。
……今、飛び出した方、いるけど…いいの! いいの!! そういう気合いが嬉しいのです!!!

♡ 318 【Wurm ge-ge-ben,】 “ge-ge-ben,”って上がるところ凄くうまい。でもちょっとお行儀よすぎて…僕の心にダイレクトにください。いや間違い! オーケストラやお客様に…全世界に。

○ 319 【und der Che-rub】 “Che-rub”の“…ブ”が聞こえないな!? “Che-ru…”に聞こえる! “天使”。

● 321 【und der〜】 ここから僕はテンポを緩める可能性があるんですけど、なぜそうするかというと、ここは十字架が見える天使が立つところですよね。ちょっとオルガンサウンドにしてほしいの。皆さんがパイプオルガンのパイプだと思って。

○ 330 【Gott.】 …永遠に長いです!(笑)ここ終わったら暫くやすみだから(笑)。それで約束事。“…tt”でもう一回、僕の棒が来ます。“ゴーーーーーォッ…tt”。あまり“…チュ”にしないで“…tt”。そのあと、動いちゃダメね。ここは暫くいい空間を創りたいんです。

○ 411 【Lau-fet,】 “Lau-fet,”とはどういう意味ですか? “走れ”。ここの第九で最初から歌っている方、どれぐらいいらっしゃいますか? 5年以上? 10年以上? 15年…はい、わかりました。…この“Lau-fet,”なんか(もっと“走れ”というようなもの)がほしいんだよな、ほしいんだよなぁ…(笑)。
……はい、少しは若返りました。ありがとうございます(笑)。もっともっと、もっともっと。まだ目が眠ってらっしゃる方がいる。目もすべてオープンにして!
……うまいんじゃない!?!! (笑)。雑にならないように日頃の練習が大事なんだけども、ある程度はここ、気合いじゃないとね。《質問》「先生、本番のテンポはこれぐらいでいかれる…??」…九州交響楽団とは初めてやりますので…なにか今のイメージではありますけども、オーケストラの方にも合唱の方にも良いテンポ。ちょっと皆さんが感じておられるテンポよりは速いかもしれない。…テノールのソリストの方の歌いやすいテンポというのもあります。またそれも調整があると思います。

● 543 【Freu-de,〜】 ここは一番重要なところなんですけども、ここも音を切って歌わない。“Freu-de”で噴水が上がって、それが横線になるように歌ってください。
……“Freu-de,”はお上手だと思います。だけど顔が“Freu-de,”になってないのが(笑)。ここを歌い出す前に暗めにテーマが繰り返され、ここで光が見えて来るわけでしょ。ワーッ! っていう言葉の噴水になさらないと。

……(ベース向け)さっきよりはいいんだけど、“ゲッ_テル”って聞こえます。“_”のように切れないで横です。さっき(321〜)のオルガンのような歌い方みたいに。そんなに速くなくて構わない。声が響く時間を作りましょう。

……(テノール向け)“Freu-de, schö-ner…”音が上がるたびに切れないように。横に歌う事をキープ。ベースと一緒に。…いまハモるという現象が起きているんです!! さっきのように切る歌い方だとハモらない。横に繋げて歌うとハモるという現象が起きてくる。
……(アルト向け)やっぱり“Freu-de, schö-ner…”が切れないように。僕はやったことないけど、ところてんを押し続けるというか、ずっと続いているという歌い方をお願いします。
……(ソプラノ向け)さぁ、あとはソプラノだ(笑)。ソプラノは大変なのはわかるんです。“Freu-de, schö-ner…”って飽和状態になってしまうのはわかるんです。でもなにかどこかで抑制があるといいんだよなぁ…。ここってfは1個じゃなかったっけ? この先の“al--le Men-schen(566〜)” から2つになったり、その前にsfがあったりします。だからここの歌い出しはフルパワーじゃないんだよな。コレ皆さんやったことがありますか? 頬骨に両手の平の付け根を押し当てて、頬を上げて歌う…。

……皆さんもやってみましょう。押し当ててる両手を上げて、目が開いている状態、眉毛が上がっている状態。うまくなった気がするでしょ!? 次は取って歌ってください。
……この響きを忘れないで。今ちょっとビリビリきた!! どうせオケが入るとffでやりそうだから、口を酸っぱくして言いますけど、そのほうが美しい。歓喜の火花、ドン!ドン!ドン!! じゃないの。ここを描くには大きいフレーズ(つながった音)が必要です。

● 549 【ly-si-〜】 ここにsfがあって、皆さんやってるつもりかもしれないけど、もっともっとやって! “feu-er-trun-ken(553)”、“Hei-lig-tum!(557)”。今の5倍、10倍やらないとダメ。
……もうちょっと体ごとできませんか? そんなに直立不動すぎなくて構いません。気持ちが入ったら多少動いてもらっても構わないですから、伝えてください。

● 560 【Zau-ber〜】 これ、最初の指摘と一緒。“Dei-ne Zau-beru bin-den wie-der”のなかで2つ目の言葉、“… Zau-beru … wie-der”のほうが大事。

○ 566 【teilt; al-】 ここで“al-le”がffになる感動がほしい。ここまでせっかくレガートで歌ってきたからパワーはありますよ。皆さん、出る! ここはパッって広がって!!
……はい、今とっても良かった!!!

● 595 【Seid um-〜】 さっきのうまくいった部分が終わると、別世界になりますから、ここから僕はあっちの世界の音楽だと思っているから、ここはPowerじゃないんですよね。Grandeのほうです。だから声も押すんじゃなくて引く。だからさっき両頬骨を両方の手の平で押し上げて歌ったように、自分は不慣れだなと思ったら、練習中に勝手にやっていただいて結構です。本番やらなければ大丈夫! (笑)
……今の声は素敵ですよ。だけど、“Se…”というのは少し勢いがほしいですよね。“ザ…”っと言っ

ちゃいけないの。
……考えようによっては地獄に落ちる“…gen(596)…”わけですよ。そして“…Mil-…”って声が聞こえてきて、入り乱れているような風景なんですね。漫然と行く演奏が多いんですけど、凄くドラマチック。地獄があって次に天国…実はそれが繋がっていて…という。

○ 600 【Kuß der】 “Kuß”(しっかり)。

● 601 【gan-zen〜】 “gan-zen Welt!”というところはフォルテが2つになると思うんだけど、そこだけちょっと大きめにしてください。“ganz”というのはドイツ語で全音符のことを言うんですね。凄くいいことは“ganz OK”。“Welt!”は“世界”ですから、“All of the world”。

● 603 【Seid um-〜】 女性が入ってくるところ、男性はもうちょっと楽して。もうちょっと調和する感じに。女性も「久しぶりだわ!」って強く歌わないように。
……皆さん、両手の人差し指を向かい合わせてクルクル回しながら歌うの、やったことありますか? それ、やってみましょう。人間直立不動だと、固まっちゃうんだけど、どっか動いていると、息が流れちゃうんだよね。だから体のどこか動いていればいいの。だから本番中、苦しいなと思ったら手を後ろで…(笑)。ホントに変わるんですから。イメージ、心の中で…息は絶対止めてはダメ。

● 609 【gan--zen〜】 男性も女性も、さっきの601小節を応用して! “gan-zen Welt!”は、ちょっとワンランク大きく。…そうなっている中で、今、ちょっと男性陣の中でガナる声が聞こえたんだけど。こう高くなったときに、“ア¨ー”ってやらないでください。
★ 609 【お話し】なんか、歌っていると、勘違いしちゃうんですよね。僕が指導しているから、僕のために歌うような第九になっちゃうんだけど、違うんですよ、あっち(お客様)ですよ。

● 613 【Ster-nen-〜】 “Ster-nen-zelt”ってのは“星空”のこと。“星空のむこうに父親が住んでいるに違いない”。“父親＝神様”。ここで歌っているでしょ。僕には見えないんだけど、みなさんには見えるんだ…あの照明が。あれをまっ暗な夜にまたたく星のように見るとかね、ちょっとイメージをそう見るだけで変わってくるという…。今だと、現実的なんだよ。「星空のむこうにいるにちがいない」(笑)。だからここは天を仰ぐイメージなんですよ。

◇ 631 【Ihr_ stürzt】 ここでたとえばソプラノが“イ¨ー”って言ってしまうと世界が終わってしまう! “イ〜”って思わないほうがいいんだよね。ほとんど口を開けないイメージ。少しほっぺたを楽にして…。頭のてっぺんを吊り上げられているイメージ。
● 631 【Ihr_ stürzt〜】 “stürzt nie-…”って繋げなくていいんです。“Ihr_＝私たちは”、“stürzt＝膝まづく・ひれ伏す”ことができるか…。“Ihr_”も切るときに“r”を入れるね。“stürzt”。そして新しく“nie-der,”を入れる。…“stürzt”という言葉を特別にします。
○ 631 【Ihr_ stürzt】 ここに入るとき、“イ¨ー”じゃダメ。例えば高速道路のインターチェンジ、“イ¨ー”って入ったら衝突しちゃうでしょ。スッと入らなければいけないし…僕はスケートをしたことはないんだけど、あの滑り出しのようなイメージ。…人より遅く入るぐらいでいいの。同時に入ら

なくても怒りゃしないから。
……「まだココで入らなければ」というmust beな人が多すぎる。オーケストラがボロんとやって、その音に溶けるの。
……せぇのポン! じゃないんだよね。その前から音は始まっていて、そこに自分が乗っかる感じ。
……このあとに“< >”があるからといって、喉を押す人がいるけど、これほとんどいらない。絶対、喉声は要らない!!
……皆さん、素直、正直! ありがとうございます。指揮者がこぅしたら、出なきゃいけないわな…そりゃそうだよね。…そうなんだけど、そうなんだけど違うのここは。…なぜならこういう(天を仰ぐイメージ)ところだから。けど、できますね、皆さんならね。

……ソプラノ以外で…男性で8人ぐらい“ンー”で言ってる!? 匂いを嗅ぐようなハミング。実際は息が出ているんだけど、嗅ぐような感じ。…ソプラノだけ、今のほかのパートに乗っかるような感じで。…そう!! OK! …でも今、半分ぐらいの人、歌ってないでしょ!? (笑)けど、いいの!! みんなの邪魔しない為に、ちょっと控えておくというのも、それも合唱。こういう合唱団の良さというのは皆がこのレベルにいなければならないというものではなくて、「僕は歌はヘタだ、ドイツ語もよくわからない…だけど飲み会では気が利く」とかね、そういう社会と同じようなことですから。それを意識して、ここの入り口はほとんどハミングで構いません。そして“…r_”が聞こえたら絶妙!!
……“stürzt”の発音をもうちょっと聞こえさせたいのだけどな。だから、そんなに急がなくていい。僕はちょっとここはゆっくり振ります。ここはしっかり喋ってください。歌うんじゃなくて、喋るね。

○ 632 【nie-der,】 “nie-der,”できたら、ここは摩擦、触れたか触れないかという感じ、赤ちゃんの産毛を撫でるような感じで、触らない、だけど触るというような。

○ 635 【Ah-nest】 この“Ah-”ってのが鬼門なんだよね! 母音の“アー”が入ってるから“ア¨ー”って言っちゃうの、違う! さっきの表現、後ろに声を出す。

★ 635 【お話し】今、ちょっといい空間が生まれているの…わかります? ちょっと楽譜とは違うことになってるんですよ。cesc.など違うことになってるんですけど、付いてきてください。

● 638 【Welt?〜】 …凄い、今の凄いよ。ここでワァーッとcresc.して、なんだっけ、地球最後に日に審判が下るような…。そのあとのppの“Such'”には急がなくて大丈夫だから、ゆっくり息を吸って入って。“Such'”は“探す”。
……(631小節から)ここまで、もう一回やときましょうかね、皆さん忘れそうだから(笑)。

○ 646 【woh-nen,】 “-nen,”の“n”が活きると嬉しいです。語尾を大事に。

● 647 【〜】 この間奏のときに、息を流しておいてください。

○ 650 この直前までは…いい世界でしたぁ〜(笑)。これ、直前までの間奏は、星がまたたく様子がわかりますか? 星がまたたいて、1個ずつともっていって…ここ。

○ 651 【ü--ber】 男性だけ…????…テノールの音程?? …テノールがベースの上に乗っかってないんだよな。ベース“ラ”、テノール“シ”。…息を流して…。みなさんのは顔の前に壁がある感じ!? …あとで家に帰って、ここに「目を開ける」とか「明るく」とか、なにか書いておいて! いつもこういうところは女性が注意されるけど、実は男性が足を引っ張ってることも多いからね。

……さて女性! ここは全員が歌っていますか? アルトはアルト、ソプラノはソプラノ…? ここだけは尋常じゃないところなので、ホントに難しかったら、ココは出さなくていいよ。気持ちをご一緒にしていただいたら、出さなくて構わない。…ひょっとしたら、もし本番までにうまくいかないようだったら、アルトがお休みで、ソプラノだけで2つ(ソプラノパートとアルトパートに)分かれていただくことがあります。ソプラノも出ない人は無理しないで。ソプラノはどっちも歌える人、要員を何人か準備お願いします。…それでアルトは「怪しい!?」とか思わないで(笑)。一番悪いのは、ベートーベンがそう書いていること…。
……待ってる間にテノールが暗くなる! ホッペが落ちている、目が落ちている!! ごめんなさいね、散々言って…でもここはお願いします。

★ 651 【お話し】凄いよね!! 糸井先生、どっからって言わなくても、こうやって弾いてくれる!! 凄いよね、素晴らしいですよね。…というようなのが【音楽】だと思うんだよね。

○ 654 【woh--nen.】 最後の“-nen.”の“n”をお願い。これは宿題。

♡ 655 【Seid_ um--】 Seid_” アルトさん?? …さっき、会館の人に今日の練習は9時に終わる必要はないって言われていますから(笑)。ダメ! もう帰さないよ!!
……手をつけて歌ってみようか、声を出すと同時に手を前に出してみよう。
……そう、そういうふうにしてください。みなさん、やれば出来る! なぜやらない!? (笑)。

● 655 【〜】 ソプラノとアルトは、全く違う要素。“Seid_ um--…”がレガート、“Freu-de, schö-ner…”は音符が跳ねている。全然違うドッペル・フーガ。

★ 655 【お話し】僕なんて、さっきからなんていうことも言ってないんですよ。あぁやれだ、こぉやれだ…要は突き詰めていくとだめだから、違う方向からいかないとね。声が出たら、楽しいよ。

♡ 661 【gan-zen】 さっきの応用して。“gan-zen”というのは、ちょっと強く。

♧ 662 【Seid_】 テノールはここ、気合いです! …テノールだけ歌ってみよう…はい、だめぇ! …それじゃぁ手を腰に当てて、歌い出すと同時に手を挙げる。
……そう、そうそう!! けど、本番はこれはできないから。…実は大事なのは、この手を挙げているところじゃないんだよね。ここ(引き)なんだよね。引きがあるからジャンプできるんですよね。パチンコのように引いて(ってパチンコって古いな)…パチんってそこの話だから。“Seid…”はそこのエネルギーを溜めておいてくださいね。

● 664 【Göt-ter-fun-ken,〜】 さっき、このフーガは2つの要素があると言ったけど、実は3つ。“Seid_ um-schlun-gen,…”と“Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken,…”と、もうひとつが“Freu-de! …

Freu-de!”。これはどのパートにもあります。(ソプラノ=664,666小節、アルト=672,674小節、テノール=680,682小節、バス=694,696小節)このときに最高の笑顔を見せてください。

○ 734 ここは連結がうまくいきにくいから、ベースはここまで歌ってください。ただし“ア¨ー”って言っちゃわない。

● 737 【〜】 テノール、今の歌い方だと、だんだん音が上がってcresc.になってる!? cresc.は次のアルトが“Such' …(738)”となってから。…音は上がっていくんだけど、パワーは入れないで。

♡ 738 【Such' ihn】 アルトというのは、岸田今日子さんとか越路吹雪さんとか、深い声が出なければ。岸田今日子さんというのは、あの声がコンプレックスだったとき、学校の先生に「あなたの声はドラマティック・アルトね!」って言われて、今の道を志したらしいのです。日本人にはいないと言われているんだけど、今の出方はソプラノの出方。
……“Such'”って汚いんですよ、ドイツ人の発音は。

○ 748 【Brü-der!】 ココ、突っ込まないで! せっかくこの前までcresc,してこの“Brü-der!”。このショックほしいです。

○ 758 【ein_】 “ein”ってところに < > があるんですけど、“たった一人の愛する父”という…ここはちょっと時間とりますよ。

○ 762 【-nen.】 “-nen.”の“…n.”、発音。…そうそうそう!! 今の良かった! 必ず語尾に“…n.”があるときは伸ばしてください。

● 795 【Dei-ne Zauber,〜】 試しに喋るだけにして、音を付けないってできますか? それも声をつけないで、それでff。もっと喋る。この“Dei-ne Zauber,”って意味は? …そう言うとみなさん目を伏せられるんですよね。“あなたの魔法”と訳して、“あなた”というのは宗教の“神”になってきますけど…。“Dei-ne”というのが“あなたの”で、“Zauber,”というのが“魔法”なんですよ。“あなたの”というのも“神様”ということで大事なんだけど、“魔法”という言葉が大事だと思う。みなさんはどうしても“Dei-ne (強) Zauber,(弱)”ってやるでしょ。逆なんだよね“Dei-ne (弱) Zauber,(強)”。“Za…”の摩擦音に魔法がかからないとベートーベンの第九の良さが出ないんですよね。
……それで音と音を料理でするように包丁でトントンと切る歌い方じゃないんだよなぁ…。なんて言うのかなぁ、手裏剣のようにが近いのかなぁ。“Freude, schö-ner Göt-ter-fun-ken,”も包丁でトントンと歌わない。これはあと本番まで2か月ありますから、皆さんだったら出来ると思います。
……もっと“Za…”を意識してほしい。それでそうする、とどうしても包丁でトントンになってしまう。“Zauber”は手ですくい上げるような感じ。そしてもっと喋って! こういうふうに［S］の部分は最初は音を付けなくて今のような感じで歌い始めていただいて結構です。そしてだんだんcresc.、“Dei-ne Zauber,”が2回あるから、1回目の“Dei-ne Zauber,”は今のような言葉だけだけ

どfの感じ、2回目はちょっと音を付ける感じ。“bin-den wie-der,”も2回あります。2回目のほうを大きく。そして“was die Mo-de…(801〜)”はストーム。

……こういうふうな興奮するような感じの部分は、指揮者の指揮のとおりにやると遅れちゃうんですよね。ピアノ聴いてやっても遅れちゃうんですよね。ということは、皆さんが興奮したら興奮したなりに速くいってもらって構わない。…まだ僕の指揮より遅い!? 皆さんは正直だから、指揮者の言う事は絶対聞かなければいけないとか、あんまり思わないでください。聞かなきゃダメよ、でもあんまり思わないでください。僕の考えとしては、指揮者は単なるまとめ役ですから、“こうしなさい”って訳じゃないんですよね。一人一人が「第九」のイメージ持ってらっしゃるだろうから、それが出たらいいと思う。だから強制的に“僕はこういうふうにやっている”というイメージでないほうが…でも言うことは言いますよ。

● 802 【streng_〜】 “streng_ _ ge-teilt.”、みなさんはここ(“_ _”)を歌おうとしちゃうんですよ…違う! “ストレーー…ンケタイルトゥ”って勢いよく行く。

● 803 【_ ge-teilt.〜】 ちょっと上品!? ベートーベンってこんな(髪の毛もじゃもじゃ)感じでしょ。…ちょっと美しすぎる!? 絶対明るい曲書いたって、ベートーベンは想像するとあんな感じでしょ。……なんか、こういうの(歌舞伎の連獅子)。ここはそういう感じにしないと。音の渦が生まれないと。

● 811 【Brü-der, wo dein〜】 “Brü-der,”っていうのは、いつも抱き合わなければいけませんから…。“Al-le Men-schen(808〜)”で天国ffから“Men-schen(810)”で地獄ぐらいにp、“wo dein”でcresc.してf、そしてここ“Brü-der,”。

○ 813 【Flü-gel weilt._】 ここの“weilt._”の“…t.”を揃えてほしいの。ここは歌うのちょっと待つよ。この直前の“Flü-gel”は、テノールの音形が上がっている…。そして新しく“weilt,”と言う。“Flü-gel”と“weilt._”の間、いっしょにブレスしていいから。…今、良かった!! もう少し僕についてきて。ちょっと僕より遅い人がいる!?

● 855 【Seid um-schlungen,〜】 このへんはお祭り! というか、狂喜乱舞!! というか(指揮や伴奏を)待っちゃだめよ!!
……階段を踏み外さないで!! 喋るの、喋りが皆さん足りない!!

○ 864 【Brü-der!】 “Brü-der!”が大事だから、今の僕の指揮のように、この直前(“Welt!_”の“…t!”)は短く切って。

● 916 【-ter aus E-〜】 “E-ly-si-um!”は、合唱のパートにcresc.はないんです。だけどオーケストラと一緒にcresc.すると一体感が出ますから、ベートーベンには悪いけど、それをさせてもらって、次の“Freu-de, schö--ner(918〜)”はfね。ここは余力を残しておいてください。次の“花火”っていう言葉“Göt-ter-fun-ken! …(919〜)”を! 感動しますね!!

○ 920 【fun-ken!】 最後は面白くて、“fun ken!”をゆっくりすると、オーケストラがこのあと、ゆっくり演奏してしまうんですよね。だから僕は“fun ken!”を一瞬にしてほしいんです。お馬さんにムチ入れるように“fun ken!”って速く歌うと、そのあとオケは速くやってくださるだろうから(笑)。みなさんが「九響のみんさん、お願いします!」というような歌い方をお願いします。

★ 920 【お話し】…はい、宿題よろしく!! …糸井先生に拍手!!!!

【最後に】…要は「第九」というもの、結局、わからないんだよね。私も何回かやっていますけど、ここで最初から歌っている方に「第九って何ですか?」って聞いてもわかんないじゃないですか。わからないから歌うんですけど…。なにが大事なんだろうか? もっと大事なことが実はあって、みなさんが違う。…僕はこう考えます。たまたま皆さんとは第九だったんだけど、これをたまたまだと設定すると、なにも第九じゃなくてもいいんですよ。ここにオーケストラがいて、ソリストがいて、合唱団員の皆さんがいて…今日の出会いがある…そのことが一番大事なのじゃないかなと思います。たまたま作曲家がベートーベン、けど「第九」はそれで感動させてくれる作品だから、なお良いわけです。でも指揮者というのは、一度に出逢う数が凄いという大変幸せな職業だと思いつつ、つい最近、別れも多いということを知りました。その分、重みがあるんで、今日の出会いに感謝して、今晩はゆっくり寝たいと思います(笑)。じゃまたねぇ〜…ありがとうございました!!

♦若いエネルギッシュなご指導、素晴らしいです。がんばりまーす。

♦音楽ってこんなに楽しいものなんですね。とても楽しかったです。もっともっと練習します!

♦久しぶりの練習参加! 次回からは絶対の参加を目標に講堂します(行事が重なりましたら、欠席します。御免なさい。) 山田先生、指揮者コンクールおめでとうございます。直後の指導で歌えて幸せでした。(m♪)

♦フランス東部のブザンソンで19日に開かれた第51回国際指揮者コンクールで山田和樹先生が優勝されたことを新聞で知りました。おめでとうございます。若手指揮者の登竜門として知られ、小沢征爾さんも優勝されたコンクールです。今年ものべおか第九は素晴らしい指揮者と共にいい演奏会になりますように!! 本当に今年の楽しい練習でした。

♦素晴らしいご指導、ありがとうございました。声がとても出しやすかったです。

♦山田先生との素晴らしい出会い…シアワセですね。ありがとうございます。(プンちゃん)

♦お疲れさま。ありがとうございました。(メダカのおばちゃん)

♦またまた第九に出会ってよかったー! と何度目かの感動でした。音楽の素晴らしさをまたまた知りました。

♥つい先日の新聞で、ブザンソン国際指揮者コンクールで山で先生が優秀賞との記事が目に飛び込んできました。この方のご指導を受けられるのかと思うと…何と私たちは幸せなのでしょう。まさに本日のご指導は情熱的でした。エネルギッシュに全身を使ってベートーベンの音楽、高みの世界へと導いていただきました。そしてそのご指導に必死にくらいついていく団員の集中力にも感動しました。今年の第九も、また一段と多くの聴衆を魅了することでしょう。いや、そうなれるよう、さらに努力していきたいと思いました。山田先生、ありがとうございました。2時間があっという間でした!! (イマ カン)

♥生き生きした指揮者でザンシンな感じの先生だ。

♥山田先生、エネルギッシュにパワフルにしかも愛を込めたご指導で、すっかり魅せられ、本番がとても楽しみになりました。今年の第九はちょっと違うかも。(スピカ)

♥素晴らしい山田先生のご指導、ありがとうございました。(チーママ)

♥山田先生の指揮は気持ちがのり、満足して歌える。すばらしい方だとわかった。有り難いです。

♥休みが多くてごめんなさい。

♥山田先生のすごいパワーに久しぶりに若返りました。本番がとても楽しみです。(ねずみバーバ)

♥若い指揮者だ〜。楽しみだなー。
♥山田先生の踊る如くの指揮に圧倒されて、ウキウキ体を動かす合唱にびっくりしました。(アッちゃん)
♥すごくエネルギッシュでしかも繊細。楽しかったです。新しい風をもらったようです。(日向キルトママ)
♥良かったです。楽しかったです。
♥山田先生のご指導、スゴイです! 楽しいです! こんなに変われるんだなぁ♪歓喜! 歓喜! 歓喜♪♪♪
♥今日、この空間に指揮者と出会えて指導を受けた幸せを，体中に感じて練習できました。
♥音楽の神髄を感じ、本当に楽しい楽しいレッスンでした。山田先生の大ファンになりました。本番が楽しみです。(よっち2525)
♥とても楽しかったです。ものすごいパワーをもらったかんじでした。
♥暗譜…間に合わず残念!! 2回目のご指導までには、まばたきしないで山田先生を見られるようにしたいです♪楽しい時間を過ごせました。
♥良い練習でした。(すずめ)
♥すばらしい指導で第九がなんかもっともっと身体の中にはいってきたようです。エネルギーをいただきました。
♥山田先生の指揮がすばらしかったです♡。(ペコちゃん)
♥山田先生のご指導は今までにないすばらしい表現のしかたで、これぞ音楽と、しろうとながらうれしくなり、引き込まれました。すばらしい第九になりそうです。(ヨッチン)
♥最高にパワフル!!! 全身全霊全力指導の山田先生の勢いに、この上ないし幸せな時間を共有出来たことを感謝します!! (うた子)
♥若い指揮者でパワーをもらいました。ありがとうございました。
♥指揮者の登竜門といわれすブザンソンコンクールで優勝なさった山田和樹先生のご指導を頂くなんて、夢の夢! この貴重な機会を大事に。あと2か月しっかり頑張りましょう。(Hamu-Star)
♥素敵! 身体全部使って教えてくださる。引き込まれて歌ってしまいました。基礎練習をしっかりして、少しでも教わったことをできるようになりたい。(M.M<)
♥すばらしい練習でした。
♥山田先生の解釈、新境地が開けた気がしました。本番がとっても楽しみになりました。忘れないようにしなくっちゃ!! (leoのママ)
♥すばらしいご指導に感謝でいっぱいです。
♥すごいパワーでした。
♥宿題がいっぱい。録音を聞き、楽譜に注意事項を記入して、繰り返しレッスンだー!! 本番がとっても楽しみで〜す。
♣今度の山田先生は音楽家! ですね。感激しました。(アリ)
♣すばらしい指揮者をお迎えして、何より喜ばしい限りです。
♣お疲れさまでした。今年の第九の本番が楽しみになりました。いつもと違う何かがありそうな…。
♣“やっぱり歌は心でうたうもの”山田先生はすばらしい!!
♣合唱の楽しさが少し分かったようです。
♣山田先生のリードが良すぎて、歌い方が良くなりました。(ねこふんじゃった)
♣山田先生、ブザンソン優勝おめでとうございます。フランスからお帰りになられて、延岡へ…。ご指導ありがとうございます。惰性の第九に喝! カルチャーショックでした。(す)
♣山田先生、若々しくて楽しいご指導でした。第九のことばの意味、表現の仕方、ていねいにおもしろく教えていただき、勉強になりました。楽しい本番になりそうです。豊かにドラマチックに歌いましょう。
♣意味を理解しながらの歌は大変むづかしい。しかし、感情が伝わったときの歌は声は素敵だ。(Ryo)
♠久しぶりに参加したが、すごい迫力でした。
♠さすが一流の指揮者でした。
♠先生の指導があり、大変楽しかった。
♠なかなか面白かった。元気が出た。(がみchan)
♠週をまたぐ出張が多く、休みがちですみません。久々の練習です。皆さん、元気そうで良かったです。来週からは10月。エンジン回転あげていきます。今日の先生の「つつみ込める勇気」を得て良かった!! それとパイプオルガンのイメージ!! (マッチャン)
♠早いもので、本番まで2か月あまり。今日、山田先生の指導を受けて本番への意欲も増してきました。新人にとっては、これからが正念場だと思っています。
♠指揮の先生がスゴかったです。
♠行事等かさなり、日頃練習に来られませんでした。今日は幸いにして出席出来て良かったです。(My Hello)

●編集後記

次回は**10**月**12**日(月)**19:00**〜21:30

前回の貴重な直接指導、メモできなかった箇所を楽譜に記入する助けにしてください。さて次回からはずっと**夜の練習**となります。チケットも配布されました。さぁラストスパート!!【munenori@horita.jp】